

1. 主な研究内容について

インクルーシブ教育と作業療法、こども/神経発達症領域の作業療法などに関する研究テーマに取り組んでいます。
主な研究は以下の通りです。

- ・「就学前施設で気になる子どもの特性把握と作業療法士の専門性を活かした支援法の開発」
(2024 科研・研究代表者)
- ・「未診断幼児の就学支援に向けたコンサルテーションモデル開発に関する研究」
(2023 戦略的研究推進事業 若手研究者支援・研究代表者)
- ・「自閉スペクトラム症児の食具操作支援を目的とした深層学習を用いた動作解析」
(2020 女性研究者 研究実践力強化支援プログラム RESPECT・研究代表者)
- ・「自閉スペクトラム症児の食に関する行動障がいへの支援法の開発」(2019 科研・研究代表者)
- ・「自閉症スペクトラム児の食に関する行動障がいの重症度を測定する尺度の開発」(2016 科研・研究代表者)
- ・「Kyushoku Practices in Reducing Challenging Mealtime Behaviors Among Children」
(2025 The Sumitomo Grant・研究分担者)
- ・「介護老人保健施設の多職種で活用可能なトイレ動作尺度開発と原因別支援法の構築」(2024 科研・研究分担者)
- ・「要支援者自身が IADL 能力の程度と変化を捉える評価尺度の開発」(2023 科研・研究分担者)
- ・「通常の学級に在籍する児童への作業療法士のコンサルテーション・モデルの実証的研究」
(2018 科研・研究分担者)

2. 主な共同研究先

京都橘大学、藍野大学、白鳳短期大学、関西福祉科学大学、広島大学、高知健康科学大学、福島県立医科大学、コクヨ株式会社、合同会社 BASE ともかな、特別支援学校、認定こども園など

3. 今まで指導した学位論文名

〈修士論文〉

2024 年度：児童発達支援・放課後等デイサービスを利用する児童の困難さの内容分析および関連する感覚特性の検討

4. 主な論文

- ・Kazuyo Nakaoka, Kiyomi Tateyama, Takuma Yuri, Shun Harada, Shinichi Takabatake: Predictive validity and cut-off score of the Mealtime Behavior Questionnaire for children with autism. Research in Autism Spectrum Disorders 110.2024.
- ・原田瞬、立山清美、倉澤茂樹、丹葉寛之、中岡和代、川崎一平、永井邦明: 知的障害区分の特別支援学校における作業療法士による学校コンサルテーションの効果検証. 作業療法 43(1)p23-32.2024.
- ・Shun Harada, Kiyomi Tateyama, Shigeki Kurasawa, Hiroyuki Tanba, Kazuyo Nakaoka, Ippei Kawasaki, Kuniaki Nagai: Characteristics of Occupational Therapists' Advice in School Consultations: Content Analysis of Advice for Consultation on Problem Behavior in a Special Needs School for Intellectual Disability. Asian Journal of Occupational Therapy 19(1) 153-160.2023.
- ・Yasuhiro Higashi, Shinichi Takabatake, Asako Matsubara, Koji Nishikawa, Toshikatsu Kaneda, Kazuyo Nakaoka, Yuta Somei, Guðrún Árnadóttir: Neurobehavioral Impairment Scale of the A-ONE J: Rasch Analysis and Concurrent Validation. Asian Journal of Occupational Therapy 19(1)p30-37.2023.
- ・Kazuyo Nakaoka, Hiroyuki Tanba, Takuma Yuri, Kiyomi Tateyama, Shigeki Kurasawa: Convergent validity of the Autism Spectrum Disorder Mealtime Behavior Questionnaire (ASD-MBQ) for children with autism spectrum disorder. PLoS ONE 17(4): e0267181. 2022.
- ・倉澤茂樹、立山清美、塩津裕康、中岡和代、大歳太郎：問題行動を呈する児童への作業療法士による学校コンサルテーション. 作業療法 40(3)p359-369.2021.
- ・Kazuyo Nakaoka, Shinichi Takabatake, Kiyomi Tateyama, Shigeki Kurasawa, Hiroyuki Tanba, Ryouhei Ishii, Yasuhiro Higashi, Toshikatsu Kaneda: Structural Validity of the Mealtime Behaviour Questionnaire for Children with Autism Spectrum Disorder in Japan. Journal of Physical Therapy Science 32(5)p352-358.2020.
- ・中岡和代、立山清美、倉澤茂樹、丹葉寛之、高畑進一：自閉スペクトラム症児の食に関する行動を測定する尺度の開発—妥当性と信頼性の検討—. 作業療法 38(2)p151-162.2019.
- ・Miyajima, A, Tateyama, K, Fujii, S, Nakaoka, K, Hirao, K, Higaki, K: Development of an intervention programme for selective eating in children with autism spectrum disorder. Hong Kong Journal of Occupational Therapy 30p22-32.2017.
- ・倉澤茂樹、立山清美、中岡和代、福井信佳、大歳太郎：食に課題のある児童生徒への栄養教諭と作業療法士の協働の有効性の検討. 作業療法 37(3)p323-329.2018.

5. 現在の指導している大学院生数

M1：1名、M2：2名

6. どのような大学院生の受け入れを希望するか？

特別支援教育/インクルーシブ教育、神経発達症領域の作業療法などに関する研究テーマに対して、興味関心があり、意欲的に探究される方を希望します。事前にご相談ください。